

木馬会会報（第93号）

高松宮記念特集



98/05/22

～木馬達の予想～

栄蔵の一番弟子 TP

～TPの屁理屈～

今年の負け額は、過去9年の1.2を争う。どうしてこうなってしまったのか。私は年頭、「これぞというレースに大金を賭ける」方式を宣言した。これが大間違いなのである。私はいつの日か、栄蔵師匠の教えを忘れていた。師匠のやり方は、「小額で大金を設ける」方式である。師匠なら、たとえ結果的に40倍以上ついたにしろ、2強で決まる確率もかなりあった天皇賞や、上位数頭で決まるであろう皐月賞は絶対にやらなかったろう。マイルカップはエルコンドルは堅いものの、相手は絞り辛く、でも人気で決まれば4倍という買ってはいけないレース。これでは、弟子を名乗ることは恥ずかしい。ここに初心に戻ろう。

有力馬はほとんど外国馬。外国馬のGⅠといえばNHKマイルカップ。そこで、過去2回のマイルカップの結果を振返ってみた。すると、面白いことに気づいた。「春の4歳GⅠに出走していた外国馬は、その時点の能力を超えることはない」のである。一昨年のマイルカップ、勝ったTフォーチュンは意外な不振にあえいでいるが、1番人気だったファビラスラフインはその後GⅠを好走。もともとこの馬はNZでGⅠ級の能力を示していた。2~5着のTシンフォニー、ゼネラリスト、Yキャプテン、SハヤカゼはすべてGⅡ級どまり。6着Hナタリー、8着EガイモンはGⅢ。9着プラウドマン、10着ユノペントゴンはオープン特別級。去年と同じように振返ると、勝ったSザパールはGⅠ級だが、2着ブレーブテンダー以下、こぞってオープン特別級なのである（SナカヤマとWカラーはダートGⅢを勝ったが）。Tシャトルはじっくり育てたので例外中の例外。この馬はピークが4歳冬であり、あの能力を持続させるはずである。果たしてこの法則、どれほど信用できるのか、楽しみだ。

はっきりいって考えはじめは、シーキングから買うんじゃあ全く妙味がなく、他の馬からいこうと考えていた。しかし、Sフォレスト、Sハヤカゼ、Eバーリン、MラッキどれもGⅠでは強調材料がない。シーキングでしようがないと思った。4歳春の実績なら、この馬が断然なのである。注意すべきは内国産、遅咲きの外国産馬だが、GⅠで通用しそうなのはいない。なら、素直に本命にしましょう。

相手だが、シーキングに勝てる馬が2頭もいると考えられないので、すべて連穴で7頭あげよう。もともと持てる能力から、バーリン（前走はいったん下げる追込むといった味な競馬で0.4秒差の5着。去年と比べ、ダッシュもつくようになっており、中京も得意）、フォレスト（今まで経っても地味な馬だが、この馬も去年より成長している。前走も一番強い競馬をしている。人気の盲点）、ハヤカゼ（中京減法得意。暮れのスプリンターズSでも2着に来ており、GⅠでも通用するここまで来た）、中京コース苦手だがマサラッキ。後はどうでもよいが、ワシントン、スーパー、ケイワンまで。

◎…シーキングザパール

△…エイシンバーリン、シンコウフォレスト、スギノハヤカゼ、マサラッキ、
スーパーナカヤマ、ケイワンバイキング、ワシントンカラー

新潟はとても良かった。前日まで100%雨の予想だったのに、当日はなんと晴れ時々曇りという申し

分のない天気。楽しく競馬を満喫しました。しかし、賭けの方は惨敗。8Rまでプラスだったが、重賞で惨敗といういつものパターン。つくづく、重賞だからといって賭け金を増やすのはよくないと痛感。新潟競馬場は、新潟大賞典の日だったこともあり、かなり混んでいました。また、7、8年前は若い売り子さんたちが多く、ときめいたものですが、その娘達ももう30を過ぎるようになり、「若い売り子が多い」というイメージはもう昔のもの…と感傷的になってしまったところに私の年を感じてしまった。現在の回収率53.1%

トウインクルダンディ

◎エイシンバーリン、シーキングザパール

○スギノハヤカゼ △シンコウフォレスト、マサラッキ

今年は今開催が中京開幕でもないので、馬場が痛んでいる分タイムもかかるかもしれないが、それでも小回り中京、「逃げたもの勝ち」だと思う（距離こそ違うが、ダイイチルビーがまったく追いつけなかったダイタクヘリオスの逃げ脚はいまだに忘れられない）。そこで本命はエイシンバーリン。タイキシャトルもいなければ、キョウエイマークもない。エイシンワシントンは引退していないし、他の馬ではこの馬のロケットスタートにはついていけないだろう。恐いのは、武&シーキングザパールが前走のように器用にインをついて伸びてくることくらいだ。しかもここ連日の暑さ…名古屋は日曜日も天気良く夏日の予想。こうなれば、夏に強い牝馬2頭で勝負だ！

ドロンジョ

こんにちは、ドロンジョです。2年間の放牧より東京の馬場に戻って参りました。東京での生活は忙しいですね。輸送（引っ越し）疲れもあり、なかなか馴染めそうも有りません。10kg減くらいしゃいそうです。

ということで、今回は…どうしよう？でも、多分、Sパールでしょう、勝つのは。なんてって、鞍乗は武様。そして対抗はマサラッキ、スギノハヤカゼ。エイシンバーリンは…いらないよ。ちょっと年寄りだし。

それにしても、ここ2週間くらい、誰も的中してませんよね。先週のレース、馬番5~9は予感はしました。当日、結局馬券は買えなかったんですが、キムタクの出ているCM、前日までのと、当日のが違うんだよ、オチが。前日までは、彼が馬に「栄養をちゃんと取れよ、あ、それ、俺の分」とか言っているのに当日のでは、「母さんにちゃんと電話してやれよ」と言っていた。そう、先週は“母の日”。5番の馬が絡む！…なわけで、あのCMって、ほんとに暗示があるんだ～、と認識した次第です。

ん~、こんな予想じゃマズイよね。

~F E L A ~

さきほど、大昔付き合っていた彼女から突然電話があった。今週の土曜日に結婚するそうだ。なにやら、木曜日に入籍を済ませてしまうから、その前に僕と話したかったらしい。できれば2次会くらいは出席して欲しいらしいのだが、福井まで帰る余裕などどちらにはない。先週の土曜日、ちょっと昔付き合っていた彼女に呼び出されて新宿まで出かけたら、お見合いした人と結婚するべきかどうかを相談された。良く分からぬ心境である。とにかく僕がお付き合いしたことのある女性は全員結婚してしまうことらしい。

さて、話を競馬に移そうと思ったのだが、やっぱりできない。むなし。何て言えばいいのか淋しいって言うか、ちょっと考えてしまいますねえ。どうも勝ちきれてない、詰めの甘い自分の性格が、こんな所にも現れていると思うと、天命なのかなと諦めの境地である。

結論として、こんな僕はいつまでもこんな僕。そう簡単には変わらないものなのでしょう。ビックバーンでもあれば別だろけど。そうそう、それで、シーキングザパールはやっぱり強いと思う。休み明けを見てやっぱりと思った。やはり強いものは強いですよ。幸せ者はしばらくは幸せだし、不幸なやつはいつまでも不幸なもの。今回は、シーキングザパールを筆頭に、牝馬とせん馬の応援をしたくなる心境なのです。

ということで、

◎シーキングザパール ○エイシンバーリン ▲ケイワンバイキング
△マサラッキ、シンコウフォレスト、スギノハヤカゼ

~ライスシャワシャワの予想はよそう~

◎…シンコウフォレスト、○…マサラッキ
▲…シーキングザパール、△…ワシントンカラー、スギノハヤカゼ

東海の空の下より寄稿します。研修に来て数日経ちましたが、学生のとき以来の座学というのはつらく、しかも本店と違い、5時には寮に戻っているこちらの生活では、9月から社会復帰できるか心配になります。

さて、マイルCは「強いものは強い～」とアナウンサーが実況でしたが、エルコンドルは強い勝ちかただった。ロードアックスからなんてひねくれずに素直にエルコンドルを本命にしておけば、会報の予想上は当たったのに…れば・たらを言っても仕方ない。

今週は、ローカルGⅠ高松宮“記念”。先週の土曜日に京王杯SCを勝ったタイキシャトルが連闊で出走かという話もあったが、結局は大事を取って回避。これで何が勝ってもおかしくないレースとなった。本命は、シンコウフォレスト。最近のレースぶりでは、強引とも思われる先行策でバテずにいる。小回りの中京では、ごちゃついたらおしまい。恐らく逃げるであろうエイシンバーリンは既に7才であり、昨年並の活躍を期待するのは酷。南井がスタート直後からぶっ飛ばすが、昨年ほどは粘れない。今回も強引に先行して、バーリンのケツを突っつき、直線抜け出してもらいましょう。GⅠではちと足りない気もしないでないが、追い込みのシーキングザパールが人気になる今回は、先行馬から買うのが手。シーキングに差されたらそれまでのこと。

相手にはマサラッキ。前走シルクロードSでは、シーキングに抜かれはしたもの、ゴール前ではまた差を詰めていた。1,200mという点では、シンコウに引けを取らないスペシャリストである。バーリン、フォレストの姿を見ながら進み、直線でフォレストとともに抜け出せば、滝坂寮で、“そのま

ま～”と絶叫しているのが今から目に浮かぶ。しかし、週末帰る予定もなく、PATももっていないため、結局馬券は買えないんだろうけど。

以下は、▲にシーキングザパール。天下の武がごちゃついて抜け出せなかつたなんて間抜けなレースをするとも思えないが、万が一を考えて評価を下げる。すんなり馬群をさばいてくれば勝っちゃうのかな？

以下、ブリンカーをつけるワシントンカラー、スギノハヤカゼ。

へなりん

みなさん、こんにちは。タイキシャトルが出ないというので馬券的妙味がでてきてうれしく思います。

さて中京なら文句無く本命はスギノハヤカゼでしょう。前走では全く手前を変えずに変な感じで走っていましたが得意の中京なら大丈夫。まあ鉄板でしょう。

相手は絞りづらい。老女とはいえスピード衰えないエイシンバーリンか、中京では実績がないが充実一途のマサラッキか、ちょっと時計がかかれば怖いシンコウフォレストか。スギノから3頭に流せば当たるとは思うがそれでは「1点へな」の名が汚れる。この3頭のうちで一番内枠に入った馬にしたいのだがそこまで締め切りは待ってくれないので…う～んエイシンバーリンでいこう。ズバリ！スギノハヤカゼ～エイシンバーリン！！でい。

来週はいよいよオークス。私が3歳のころから期待していたあの馬が登録している。私の幻の桜花賞馬がいよいよペールを脱ぐ。出でくればの話だけれども。詳しくは来週ということで。

さてさてふえらさん。外国へ語学修業と聞いていたがドラマのエキストラをやっていたとは知りませんでした。ふふふ。

◎…スギノ、エイシン

メニーフレンズ

相変わらず、木馬会予想は×、個人予想は○のメニーです。今日は、敦賀まで日帰りで出張してまいりました。疲れた。

高松宮杯の予想は、美也さんに念じて別紙のとおりであります、絶得意の宮杯です。そろそろ当てなくては、除名になるので当てます。

ところで、本命派のみなさん、NHK杯の惨敗について、どう弁解するおつもりですか。

◎ケイワンバイキング、スギノハヤカゼ
△エイシンバーリン、シーキングザパール

予想はウソヨ 四国の井崎

エルコンドルパサーは強かったです。昨年に続きトライアルと直結した結果が出たようです。そうなると今週の高松宮記念もトライアルと言えるシルクロードSの上位組を重視するべきでしょう。

タイム評価は以下のとおり。

	3走前	2走前	前走
シーキングザパール	-0.1	-2.4	-0.1 B
マサラッキ	-1.3	-0.5	-0.1 上昇
シンコウフォレスト	-1.5	+0.4	-0.2 C

スギノハヤカゼ	+0.4	+0.7	-0.4	A
エイシンバーリン	-0.2	-0.7	-0.5	
ケイワンバイキング	-0.5	-0.9	-0.2	
コクトジュリアン	-0.7	-1.3	-0.4	
ジェットアラウンド	-1.5	-1.7	+0.3d	
スーパーナカヤマ	+0.3d	-1.8d	-0.7	
ピコーペガサス	+0.7	-0.8	-1.7	
ヤシマキャプテン	-1.5d	-0.2	-2.6d	
ワシントンカラー	-0.4d	-1.1d	-0.6	

宮田式バイオリズムのいい馬は、5割復帰型でスギノハヤカゼ、ビコーペガサス、ヤシマキャプテン、複合型でジェットアラウンド、スーパナカヤマ、ワシントンカラーです。

中京1200mは牝馬、外枠がいい。以上を踏まえて、タイム評価断然Aのスギノハヤカゼが本命です。前走は59kgがこたえ、手前も変えなかった。今回は叩き2戦目、得意の中京コースとプラス材料が多い。課題は騎手だね。好調時のビコーペガサスのようにG1では2着までという気がしないでもないが、連軸としては信頼できそう。相手もシルクロードSの1、2着でほぼ間違いない。

◎ スギノハヤカゼ ○ シーキングザパール、マサラッキ

第28回 高松宮記念

NHK3 高松 オーナー 優駿 安田 宝塚 秋華 天秋 菊花 刈安 ユウカ J.C 阪北 朝日 33°S 有馬 フジフ 桜花 鳴月 天春 NHK3

次調はオーフス号です。